

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

水面月

水泳部のクールな彼女が

寝取られるまで 2



DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

水面月

水泳部のクールな彼女が

寝取られるまで 2





霧沢先輩……
大丈夫かな？



霧沢は今日も
体調不良で休みか……

コーチも風邪で
休みだし……

みんなも体調管理には
気を付けるように



練習のあとにでも
電話してみるか

カホッ
カホッ



おーい
始めるぞー

あ……はいッ！



んあッ!

はあッ

どうした
どうした

動きが
ぎこちないぞ

ハクッ

ハクッ

ハッ

ハッ

こんなことじゃ
いつまで経っても
終わらないぞ?



う…くうッ…

ハッ

ハッ

ハッ

今頃みんなは部活で
頑張っている頃なのに

ずる休みして
コーチの家でちんぽを
啜えこんでいるのは
どういう気分だ？

ガキツ

ガキツ

ヒク

ヒク

くっ…
誰のせいでッ

やめっ…
動かな

んんん

ズン

ズン

誰のせいなのか
教えてくれよ

んん？
誰のせいなんだ？

イツ…
イクウツ…

ズン

ズン

やれやれ
ナマイキなことを
言うわりには
あっさり
と
イッ
ち
ゃ
っ
た
な
あ

まだまだ
鍛え方が足りない
んじゃないか？

いやむしろ
鍛えすぎて
イキやす
く
な
っ
て
る
の
か？

はっ

今日でちょうど
折り返し地点…
残り5日間
最後まで保つか？

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ





ま…まって
少し休ませ…

ぐちゃっ

ぐちゃっ



ほら惚けてる
暇はないぞ

こっちはまだ
イッてないんだ
このまま続けるぞ



んおおッ!

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

だーめ♥
このイキたてまんこを
突きまくるのが
最高なんじゃないか



ぐちゃ

こんなッ…

ぐちゃ

ぐちゃ

いのようにされて
はしたない声を
上げてしまう
自分が情けない

だけどこの太くて
硬いものが奥深くまで
入り込んでくるたびに

あっあっあっ！

抑えきれない快感が
背筋を駆け抜けて

だ…ダメだ…
またッ！

身体が気持ちいいと
感じてしまうッ！

おおっ♡

おおっ♡

おおっ♡

おおっ♡

おおっ♡



いやあ…今のは
なかなか良い
締め付けだったぞ

はっ♡



す…すごい…
精子がゴムの
暴れて…

どっどっ

どっどっ



あ…あんなに
たくさん

わっ



ほら見てみな
霧沢のまんこが
搾り取った精液だ

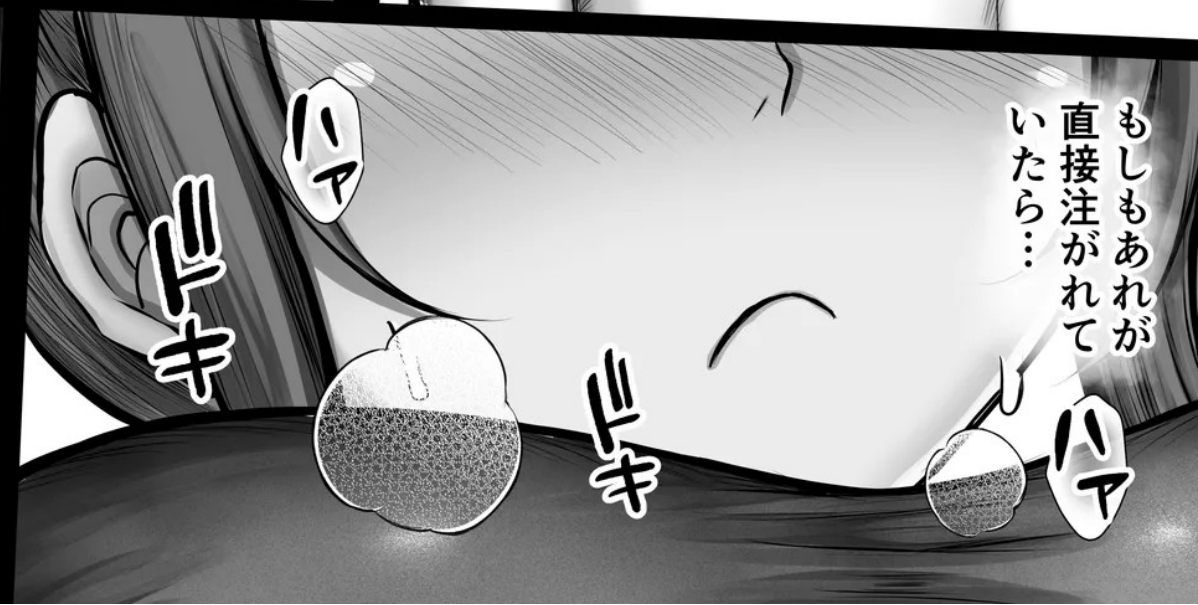


どうなって
しまうんだ？

ぞく

さてと

それじゃあ
次は――



もしもあれが
直接注がれて
いたら…

ハア

ドッキ

ドッキ

ハア



くっ...
こんなこと...

ハァ

いいぞ... なかなか
上手じゃないか

クニニ

ハァ

クニニ

なんだもしかして
パイズリは
初めてなのか?



こんな立派な
ものを持つてるの
に勿体ないな

真島にも
してやれよ
きつと喜ぶぞ?

よ... 余計な
お世話だッ

ドキ

はあ...はあ...

どうした？
ずいぶんと
色っぽい顔に
なってるぞ？

ドキ



アッ

こんな...
胸でなんて...

アッ



う...う...むっ

むっ

むっ

なんだこれ...

胸が熱い



いや...
胸だけじゃなく
身体やあそこが
熱くなってる...

キニム

トコ

頭がボーっと
して変な気分...



ヒューン

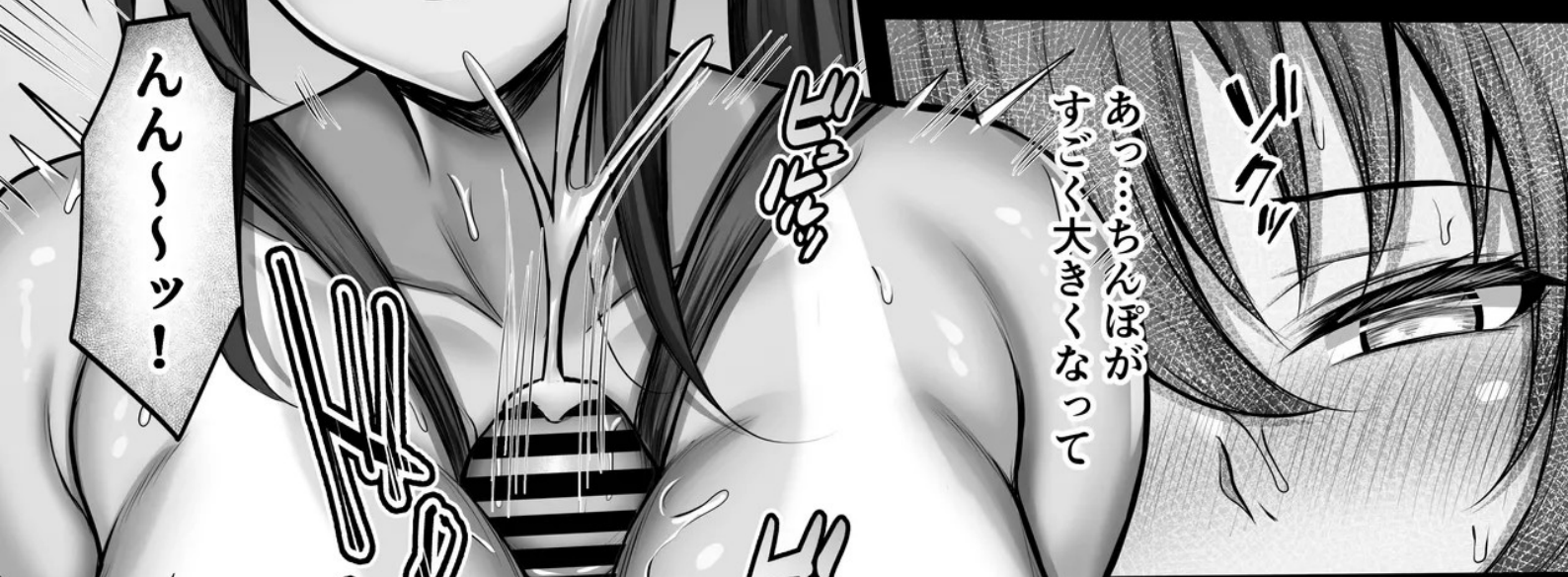
ヒューン

ハア

ハア

よしそのまま
続ける…

お…ノッてきたな



んん…ッ!

ビュン

あつ…ちんぽが
すごく大きくなって

ヒューン



ヒューン

ビュン

おっ…
射精するッ!

いやらしい匂いが
どんどん濃く
なってきたるッ

思った以上に早く搾り取られちまったなw

はー

泳ぎよりもこっちの才能のほうがあるかもよ？

そんなこと言われて嬉しいとでも思っているのか…

おお…怖い怖い

この状況でまだそんな顔ができるなんて大したもんだ

はー

キッ!

だけど前にも言ったよな？

ガキッ

ガキッ

あっ!

そういう態度を取られると余計に興奮して屈服させたくなるってさ

もしかしてこうされたくてわざとやってる？

そんなわけッ…

あっそ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

まあどっちでも
いいけどさ

もっともっと
いい声で啼いて
俺を興奮させて
くれよな♪

2度も射精してるのに
こんな硬いままなんてツ

いや...こいつの
性欲の底なしさには
今さら驚いたりはない

あ

あ

ん

あ

あ

あ

あ

あ

あ



いいねえ…
このエロい尻に
打ち付ける感触

何度味わっても
飽きないわ♪

うあっ…
はあッ!



この体位だと
より深いところまで
届いてくるッ…

奥の敏感なところを
亀頭で掻き回されてッ



んんん

んっ

んっ

んっ

んっ

そんな必死になって
声を抑えててもまんこは
ぐっちよぐちよだぞ？

そんなの
わかってるッ

ほらこんなに
エロい水音
響いてるだろ？

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

それでも私はッ



そんなに
甘くはない…か



4千

…なんだ
この水着は

ドキ

ドキ

こんな薄い生地じゃ
透けて全然意味が
ないじゃないか…

なんだとは
ひどいな

わざわざお前のために
用意したんだぞ？

4千

キゅん♡

はは…それが
いいんだよ

それよりさっき
言ったこと
やっつけてくれない？

くっ…

ドキ

はっ

はっ

こ…こ…こに

ドキ

コーチのちんぽを
ぶちこんでください…

クチュッ

こんなことを
させてなにが
楽しいんだ…ッ

少し表現が
足りないなあ…
これ付けけないぞ？

こ…コーチの
太くて硬い
勃起ちんぽ…ッ

よしよし
よく言えました

くちゅっ

くちゅっ



ほらご褒美だ

あああッ!



ははっ
挿入れた途端に
ギユウギユウに
締め付けてくるな

そんな恰好で
霧沢もしっかり
興奮している
じゃないか

うるせえッ



乳首もこんなに
勃起させて♪

んああッ!



お…また一段と
締まりが
よくなったな



ほらほらもっと
いい声で啼け

あッあッあッ!



感じたくないッ



こんなちんぽで
感じたくないかーッ

んん



無理は身体に
毒だぞ〜？

我慢せずに
快楽に身を
任せてみなよ

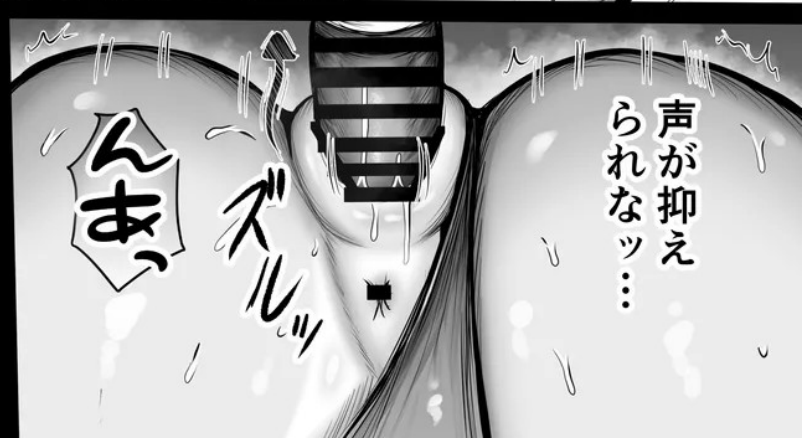
だ...ダメだ...
身体が感じすぎてッ



あー

んっ

あー



んっ

んっ

声が抑え
られなッ...



こんなエロい声を出してるくせにどこまで強情なんだまったく...

それなら...



ほらほらほらここからはもっと激しくいくからな

まっ...まっ...
あああああッ!



ほら射精して
やるから

もっと
膣内を締めろ

おっ!

またすごい
くるッ……!

い……イクッ





ん、あ、

アホウ

アホウ

アホウ



は、

は、

おいおい
こんな程度で
へばるなんて

もっと経験を
積んで体力を
つけないとなあ

アホウ

アホウ

アホウ



ん？

真當





いや…気にするな
どうしたんだ？



急に電話して
すみません

あ…先輩



…もしもし



あ、ああ…
大丈夫だ
心配させて
すまない

ニヤ。。



その…体調は
どうかなくて

ヒッヒッ



アッ!!



アッ!!



あ：いや咳が少し蒸せてしまった

こ：こいつ何を考えているんだこんな時に挿入れるなんてッ！！



先輩？

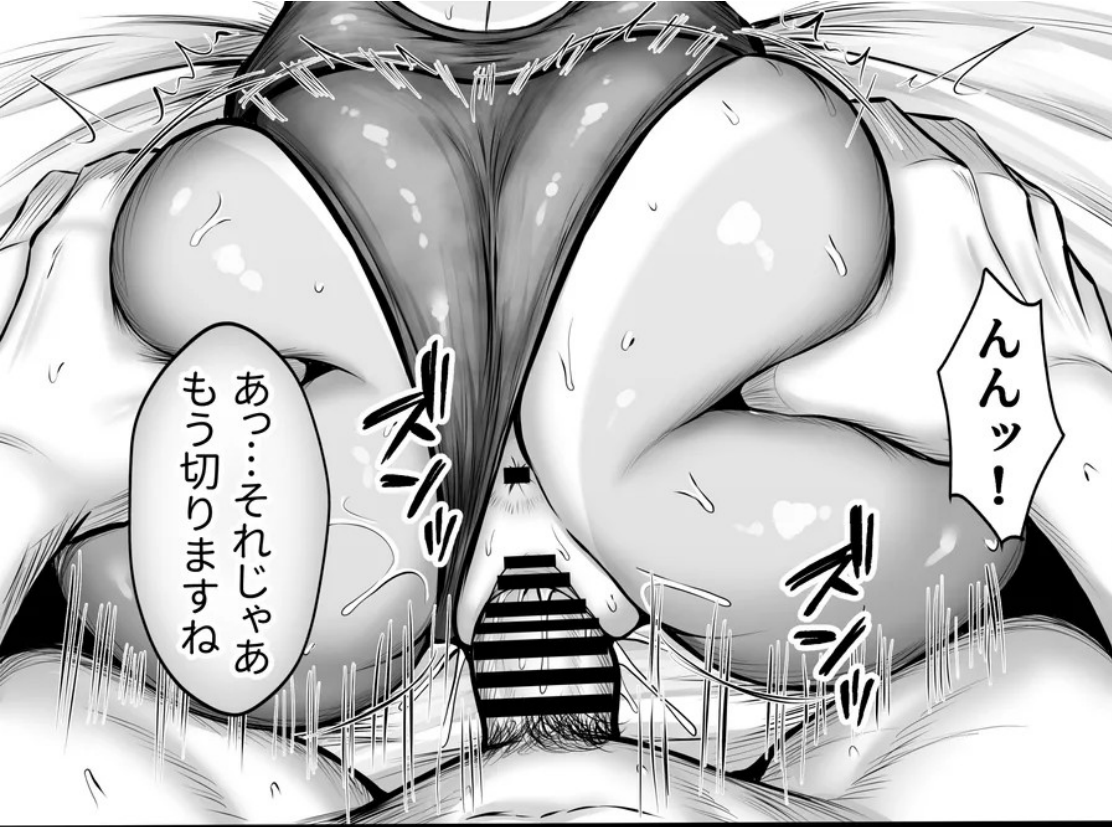


…なんだ？さっきまでと感触が違う…？



き：気をかわせてすまないな

あ：すみませんそれならあまり長く話してないほうがいいですね



あつ...それじゃあもう切りますね

んんッ!

まさか...ッ

先輩の声：少しでも聞けてよかったです

本当にお大事にしてくださいね

私も真島の声が聞けて嬉し

あ...ああ



大丈夫かな?



先輩?



…って切れ
ちやってる



だいたい体調
悪そうだったけど





ふ…ふざけるなツ
すぐに抜けッ!



真島と電話している
霧沢を見ていたら
我慢できなくてな

んああっ!



そう言うわりに
こっちは締め付けて
俺を離さないぞ?



素直に
気持ちいいと
認めろよ

そんなことツ…

ふーっ

気持ちよく
なんか……ッ

ふーっ

気持ちよく
なんて……ッ!

うっ

んっ

気持ち

気持ち、おせい

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

まったく…
これだけ派手に
イキまくって
まだ強がれるのか

またイカされて
しまった…ッ

こうなったら
仕方ないな

中出しの快感で
トドメを刺して
やるとするか

ッ!



まあまあ
何事も経験だ
気持ちいいのは
保証するぞ？

まっ…まてっ！
それだけはダメだ！

しゅっ

しゅっ



イカされすぎて
身体に力が…っ

あゝ

ハア



ふざけるなッ
そんなこと—
あっあっあっ！

ズッ

ズッ



お...おめッ

ズッ

射精するぞッ
しっかり
受け止めるよッ



ズッ

お
お
ッ

こんなことで
イキたく...ッ

ズッ

ズッ



シッ

イキたくないッ

シッ

ほらいケッ
盛大に
イキ散らせッ!



おっぱい♡

おっぱい♡

おっぱい♡

イッパツクウウウツツツ！♡♡

おっぱい♡

おっぱい♡

おっぱい♡

ビビッ

信じられないほどの熱い进りが子宮の奥底に注ぎ込まれるたびに

ビビッ

私の身体は絶頂に震え続けた

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

コーチの言う通りそれは今まで感じたことのないほどの快感だった

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

それでも私にはまだ抗う気持ちは僅かに残っている



はーっ♡

はーっ♡


はーっ♡

だがそれと同時に
ハッキリと
思い知らされる

そんな気持ちとは
正反対に

まだ屈しない…

私の身体はもう……



発行日:2025年11月
発行者:カナ(サークル水面月)

X(Twitter): @kE6NuSnJcuHWbDA



pixiv: 37962341



この物語はフィクションです。
18歳未満の購入、閲覧、所持を禁じます
本作品の無断複写・転載・インターネットへの
アップロード・AI学習を禁じます。

© 2025 カナ



